

平成26年度環境こだわり農産物残留農薬検査結果の概要

1. 目的

環境こだわり農産物認証制度に対する消費者からの信頼性を高めるために、認証された環境こだわり農産物について残留農薬の検査を実施するとともに、生産記録が正しく記載されていることを確認することとしています。

2. 分析試料

平成26年産環境こだわり農産物30点（玄米19点、野菜・果実9点、大豆1点、そば1点）。地域性を考慮するとともに、過去の対象者と重ならないよう選定しています。

3. 分析農薬

県内での使用実績を勘案して県が選定した玄米25農薬、野菜・果実30農薬、大豆17農薬、そば4農薬について、業者委託により分析を行いました。

4. 分析結果

- (1) すべての試料において、食品衛生法の残留基準値を上回る農薬は検出されませんでした。
- (2) 玄米6点、野菜3点から、検出下限（0.01ppm）を超える農薬が検出されましたが、いずれも残留基準値以下でした。

そのうち、玄米2点、野菜1点から、生産記録に記載のない農薬が検出されました。農業者から聞き取り調査をした結果、農業者は当該作物では当該農薬を使用しておらず、近隣ほ場で使用された農薬のドリフトや、他作物で使用した農薬が散布器具の洗浄不足により検出されたと考えられます。

5. 今後の対応

今後とも引き続き、生産記録の適切な記帳の徹底とともに、残留農薬検査の実施により認証制度の信頼性向上に努めます。

また、農薬の使用にあたって、飛散防止対策や防除器具の点検・洗浄について啓発指導します。